

ファンド レポート

三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型) / (株式重視型)

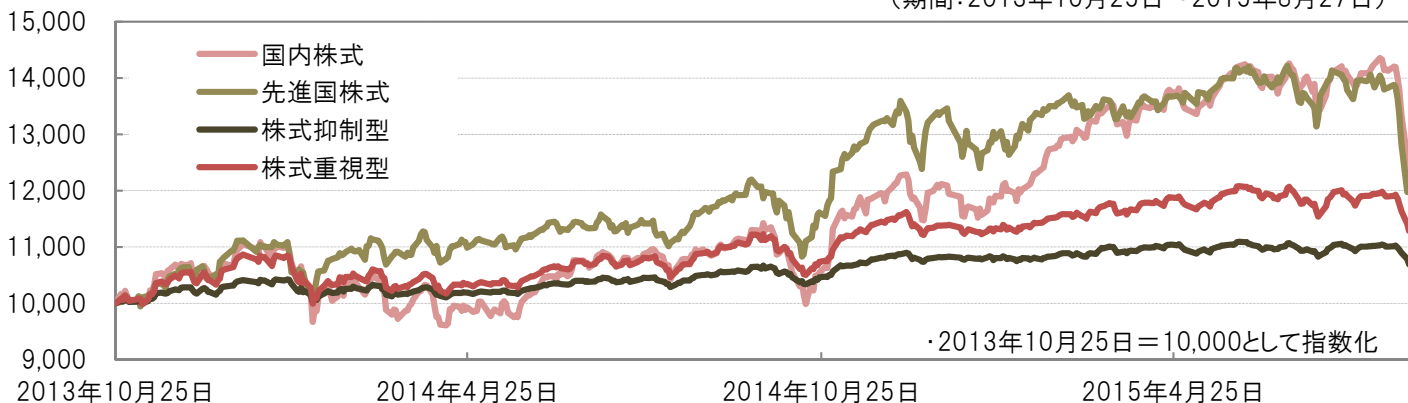
追加型投信 / 内外 / 資産複合

足下の運用状況について

平素は「三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型) / (株式重視型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、足下で中国株式市場の混乱を背景に、投資家のリスク回避的な動きが強まり、世界的に株式市場が大きく調整しています。そこで、足下の当ファンドの運用状況についてみなさまにご案内させていただくことといたしました。今後とも当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

国内株式・先進国株式とファンドの基準価額・資産別組入比率の推移

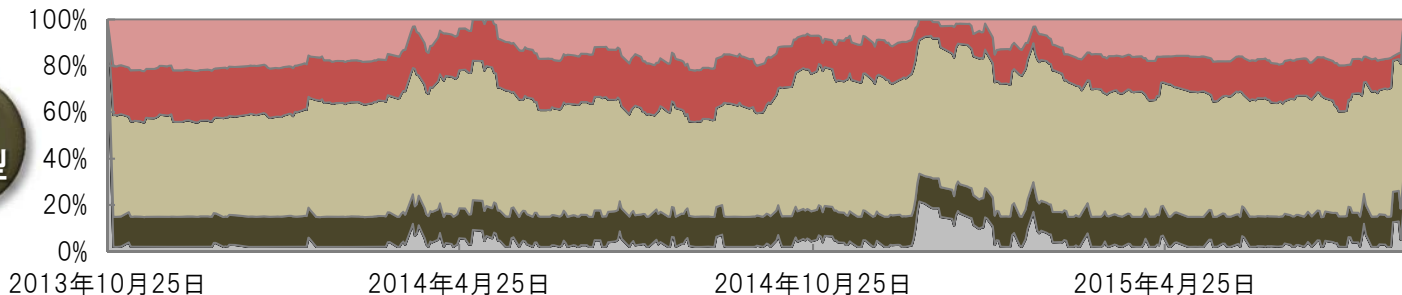
(期間:2013年10月25日~2015年8月27日)



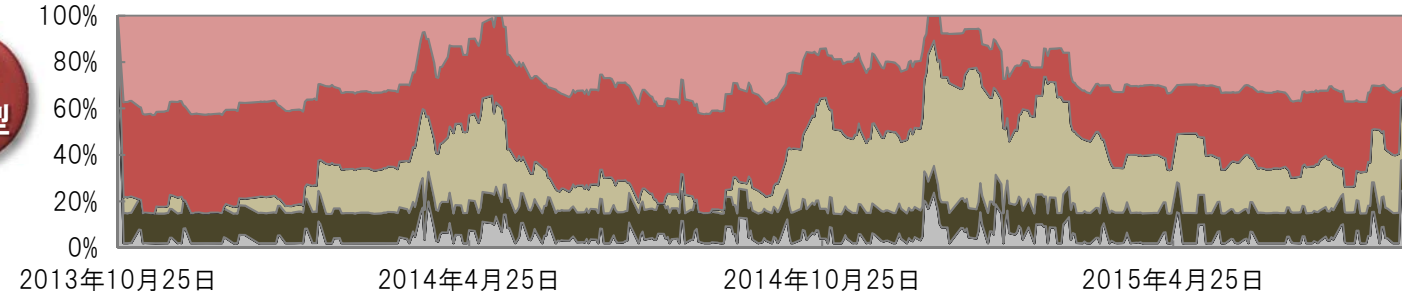
・掲載期間中当ファンドの分配金は支払われておりません。
・基準価額は、信託報酬控除後の値です。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

株式抑制型



株式重視型



・資産別組入比率は各資産に対応するマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
・国内株式 先進国株式
・国内債券 先進国債券 短期金融資産等
なお、マネー・マーケット・マザーファンドの組入がある場合は短期金融資産等に含まれます。

足下の運用状況

当ファンドは、①投資環境および②株式部分の収益寄与に基づいて決定する「株式ウェイトマトリクス」を用いて株式の組入比率を決定する「下方リスク抑制バランス」の運用手法を活用して運用を行っております。当ファンドにおいては、8月に入ってからの世界的な株価急落により、①投資環境の評価が低下するとともに、②株式部分の収益寄与の評価も低下しています。これを受けて、(株式抑制型) / (株式重視型)とも、国内株式・先進国株式の組入比率を大幅に引き下げています。

■上記は、過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■上記は指数を使用しています。指数については【当資料で使用している指数について】をご覧ください。■計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。

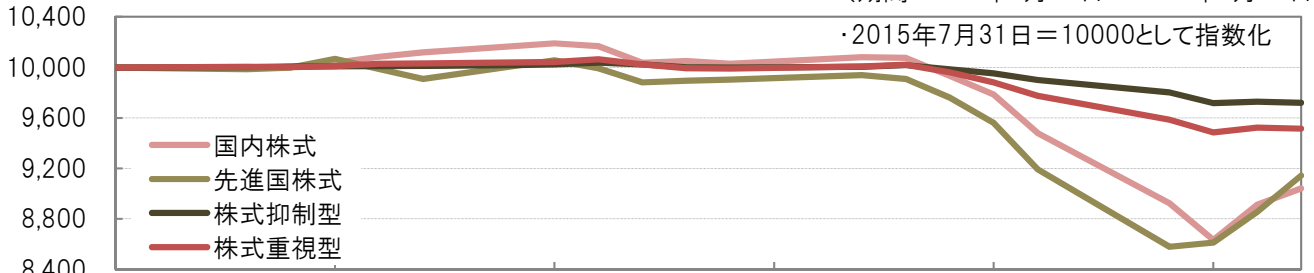
※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。 1/7



株式市場が大きく調整した2015年8月の運用状況は以下の通りです。株式抑制型・株式重視型とも、8月の後半にかけて、株式部分の組入比率が大きく引き下げられています。

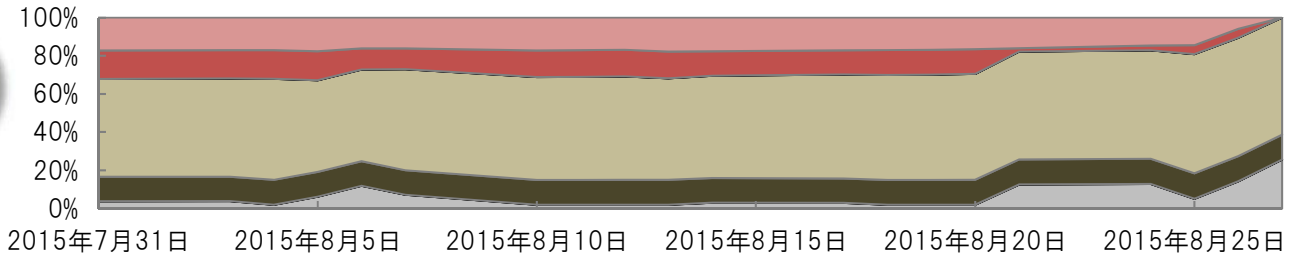
国内株式・先進国株式とファンドの基準価額・資産別組入比率の推移

(期間:2015年7月31日~2015年8月27日)

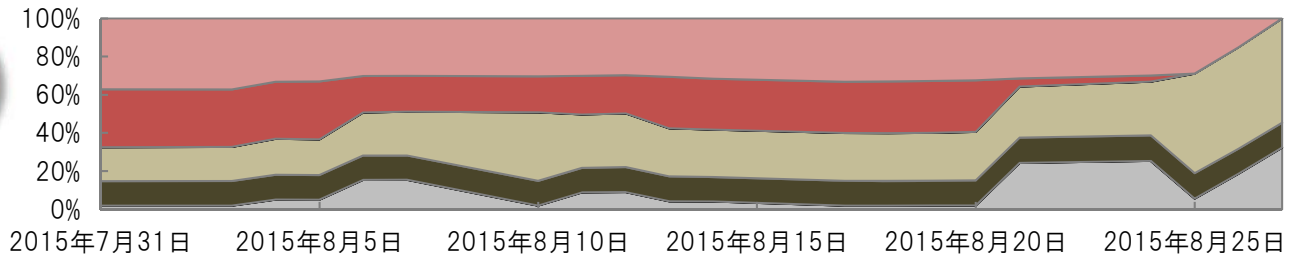


2015年7月31日 2015年8月5日 2015年8月10日 2015年8月15日 2015年8月20日 2015年8月25日
 ・掲載期間中当ファンドの分配金は支払われておりません。
 ・基準価額は、信託報酬控除後の値です。(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

株式抑制型



株式重視型



・四捨五入の関係で上記の数字を合計しても100%にならないことがあります。
 ・資産別組入比率は各資産に対応するマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 なお、マネー・マーケット・マザーファンドの組入がある場合は短期金融資産等に含まれます。

国内株式 先進国株式
 国内債券 先進国債券 短期金融資産等

■ 上記は、過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■ 上記は指数を使用しています。指数については【当資料で使用している指数について】をご覧ください。■ 計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。



三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／(株式重視型)

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子・配当等収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

- ・世界の株式や債券を主な投資対象とし、投資環境等の変化に合わせて組入比率を変更する投資信託です。
- ・「三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／(株式重視型)」は、マザーファンドへの投資を通じて、国内および先進国の株式、債券および短期金融資産に実質的な投資を行います。
- ・運用は主にTOPIXマザーファンド、外国株式インデックスマザーファンド、日本債券インデックスマザーファンド、ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド、マネー・マーケット・マザーファンド等への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、公社債および国内の短期金融資産へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。
- ・「株式抑制型」は、国内株式、先進国株式の組入比率を抑えて、比較的安定的な基準価額の上昇をめざすファンドです。
- ・「株式重視型」は、「株式抑制型」と比較して国内株式、先進国株式の組入比率を高めることが可能なファンドであり、株式相場上昇局面における株式の値上がり益の獲得をめざすファンドで、値動きはより大きくなる傾向があります。
- ・三菱UFJ信託銀行株式会社の投資助言・情報提供に基づき、三菱UFJ国際投信株式会社がファンドの運用を行います。
- ・投資環境等に応じて、機動的に各資産の組入比率を調整します。各資産の組入比率の調整にあたっては、三菱UFJ信託銀行が運用する年金ファンド「下方リスク抑制バランス」運用手法を活用します。

(株式ウエイトマトリクスについて)

- ・株式の組入比率については、投資環境や株式部分の収益寄与に基づいて決定する「株式ウエイトマトリクス」を活用します。
- ・「投資環境」は、株式市場や景気の方向性、信用リスクに対する市場の反応の大きさ、株式市場の値動きの大きさ等を測る複数の指標を用いて計算される相場局面判断インデックスをもとに判断します。
- ・「株式部分の収益寄与」は、過去の株式の収益率に組入比率を勘案して算出します。
- ・「株式ウエイトマトリクス」は、各資産(国内株式、先進国株式)ごとに異なります。
- ・株式部分以外への投資については、先進国債券に一定の比率で投資を行い、残りは国内債券に投資します。なお、国内の債券市場が下落した場合等に国内債券の組入比率を引き下げ、マネー・マーケット・マザーファンド等への投資を行う場合があります。
- ・実質組入外貨建資産のうち債券部分については、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行いますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。その他の実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、ファンドは為替相場の変動による影響を受けます。
- ・「三菱UFJ バランス・イノベーション」には、リスク水準に応じて、国内株式、先進国株式の組入比率を抑えて、安定的な基準価額の上昇をめざす「債券重視型」、国内株式、先進国株式の組入比率を抑えて、比較的安定的な基準価額の上昇をめざす「株式抑制型」、「株式抑制型」と比較して国内株式、先進国株式の組入比率を高めることが可能な「株式重視型」、国内、先進国の株式・債券および短期公社債等に加え、新興国の株式・債券にも投資する「新興国投資型」があります。「新興国投資型」のみ新興国株式および新興国債券への実質的な投資を行います。
- ・各ファンド間でスイッチングが可能です。なお、スイッチングの取扱いを行わない販売会社もあるため、詳しくは、販売会社にご確認下さい。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。

<主な投資制限>

- ・株式への実質投資割合に制限を設けません。
- ・同一銘柄の株式への実質投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

<分配方針>

- ・年1回の決算時(3月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ国際投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用…三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／(株式重視型)

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

<三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／(株式重視型)>

(価格変動リスク)

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式や組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

組入外貨建資産のうち債券部分については、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行いますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

その他の組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

信用リスク

<三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／(株式重視型)>

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

<三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／(株式重視型)>

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。



三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／(株式重視型)

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ロンドンの銀行の休業日、その他ニューヨークまたはロンドンにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2015年の該当日は1月19日、2月16日、4月3日、4月6日、5月25日、7月3日、8月31日、9月7日、11月11日、11月26日、12月25日、12月28日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／三菱UFJ バランス・イノベーション(株式重視型) 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2023年3月24日まで(2013年10月25日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年3月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)／(株式重視型)
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額× 2.16%(税抜 2%) (上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは販売会社にご確認ください。
--------	--

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額× 年1.404%(税抜 年1.3%)
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用、外国株式インデックスマザーファンド、新興国株式インデックスマザーファンドおよびヘッジ付新興国債券インデックスマザーファンドの換金に伴う信託財産留保額等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

<お客様専用フリーダイヤル> **0120-151034**
受付時間／9:00～17:00(土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>

販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型) / (株式重視型)

商号	登録番号等	加入協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【当資料で使用している指数について】

■国内株式: 東証株価指数(TOPIX)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。同指数に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■先進国株式: MSCI コクサイ インデックス

MSCI コクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。